

平成18年3月10日（金曜日）

愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター

担当 名和、稲垣

電話 0561-21-2117

愛知県産業労働部産業技術課技術振興グループ

担当 加藤、渡辺

内線 3383, 3384

（ダイヤルイン）052-954-6348

瀬戸市の新スポット「瀬戸蔵」で産業技術研究所の 新技術を紹介

－ 対話形式による発表、研究成果品の展示 －

産業技術研究所瀬戸窯業技術センターでは、今まで講演会形式で研究成果を発表してきましたが、このたび、全く新しい試みとして、企業や県民の方に研究成果品を見ていただきながら開発した技術を解説する対話形式の研究成果発表会を開催します。技術のポイントや成果物について、その場で研究者に質問することが可能です。研究者も参加者の生の声を直にお伺いし、今後の研究や製品開発に活かします。

この発表会は、「瀬戸蔵」（産業支援センターせと）において3月14日（火）、3月16日（木）、3月23日（木）に開催します。

主な研究成果発表・展示品

- ・公園の遊具からの落下事故防止用の陶磁器製緩衝材の開発
- ・割れにくく、燃料コストを低減した低温焼成用磁器の開発
- ・「愛・地球博」において食器として採用されたりサイクル磁器「Re瀬戸」の新しい釉薬の開発

1. 会場 「瀬戸蔵(せとぐら)」(産業支援センターせと) 3階
瀬戸市蔵所町1番地の1 TEL 0561-97-1555
セミナー：定員 30名
主な成果品の展示：定員 なし（随時説明 午後1, 2, 3, 4時の

4回程度）

2. 開催内容

- (1) 研究成果発表会
日時 平成18年3月14日（火） 午後1時30分～午後4時
内容 ○講演
「中国陶磁工業瞥見(べっけん)」 (瞥見：眺めること)
理学博士 金岡 繁人 氏
○瀬戸窯業技術センター研究発表及び技術討論

- ①難加工性構造用セラミックスの加工性向上
- ②公園遊具用光触媒多孔質セラミックスの開発

(2) 研究成果発表会

日時 平成18年3月16日(木) 午後1時30分～午後4時

内容 ○講演

「瀬戸陶磁の将来」

工学博士 高嶋 廣夫 氏

○瀬戸窯業技術センター研究発表及び技術討論

①Web サイト用陶磁器コンテンツの研究

②低火度磁器素地の強靱化に関する研究

(3) 研究成果発表会

日時 平成18年3月23日(木) 午後1時30分～午後4時

内容 ○講演

「中火度焼成亜鉛結晶釉について」

瀬戸窯業技術センター 主任研究員 後藤 喜良

「光触媒の正しい考え方」

(株)プラザ・オブ・レガシー 代表取締役

刀根(とね) 如人 氏

○研究発表及び技術討論

①チタン酸アルミニウムセラミックス部材の電気炉焼成

瀬戸窯業技術センター 主任研究員 後藤 喜良

②チタン酸アルミニウムセラミックスの熱機械的特性」

(財) ファインセラミックスセンター

材料技術研究所 主席研究員 松平 恒昭 氏

3. 参加費

無料

4. 申込み

研究成果発表会(セミナー)につきましては、電話又はファクシミリにて下記へお申し込み下さい(先着順)。

5. 問い合わせ先

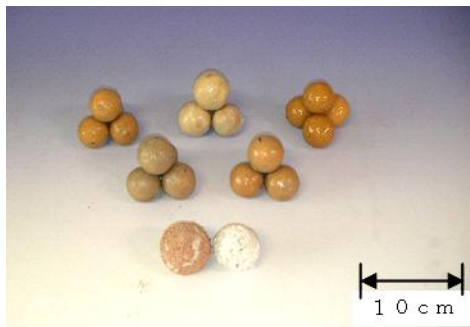
愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター

瀬戸市南山口町537

TEL 0561-21-2116 FAX 0561-21-2128

URL: <http://www.aichi-inst.jp>

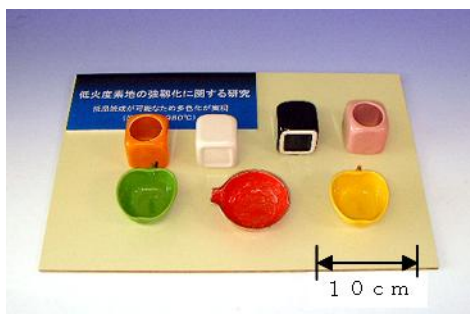
研究発表及び展示成果品事例
公園遊具からの落下事故防止用の陶磁器製緩衝材
(公園遊具用光触媒多孔質セラミックスの開発)



ブランコや滑り台からの落下による事故を防止するため、土に埋めて落下の衝撃を吸収するセラミックス製緩衝材を開発しました。

低温焼成により強度を抑えた中空のセラミックスボールに合成樹脂を被膜して、遊具からの落下衝撃をボールの破壊で吸収し、破壊片が飛散しない緩衝材を開発しました。また、低温焼成で製造するため燃料費も低く抑えられます。

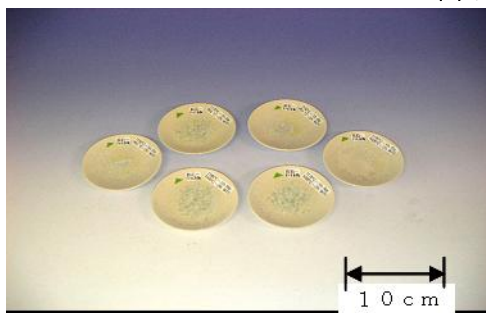
割れにくく、燃料コストを低減した低温焼成用磁器の開発
(低火度磁器素地の強靱化に関する研究)



ガラスとセラミックを複合し、焼成温度を従来より 200℃～400℃低下させ、燃料費を大幅に削減できる磁器を開発しました。

自由な彩色が可能で、同時に、繊維状の補強材を混入して通常の磁器と同等の強度を確保しました。

リサイクル磁器素材「Re瀬ッ戸」の新しい釉薬の開発
(中火度焼成亜鉛結晶釉)



「愛・地球博」会場で食器として採用されたリサイクル低温焼成磁器（Re瀬(せ)ッ戸(と)）用に、低温で焼成しても美しい亜鉛結晶が見られる釉薬(ゆうやく)を開発しました。